

# 「奥大道」シンポジウムパート2

## 中世奥羽の街道と大道

本年4月から6月にかけて栃木県立博物館で企画展「下野の鎌倉街道一道を歩き交う人と物一」が開かれ、あわせてシンポジウム「中世の鎌倉街道「奥大道」」が催されました。時間は前後しますが、茨城県域を中心とした高橋修・宇留野主税編『鎌倉街道中道・下道』（高志書院、2017年）もまとめられています。北関東では、東北地方につながる中世の街道への関心が高まり、成果が集積されつつあります。

こうした動きを東北地方でも受け止めるべく本シンポジウムは企画されました。栃木県博のシンポジウムを引き継ぐ「奥大道」シンポジウムPart 2ということになります。北関東の成果ともあわせて、鎌倉以東（北）の街道についての全体像を描き出せればと考えます。多くの皆様のご来場をお待ちしております。

**日時** 2019年12月7日（土）13時～17時（開場12時30分）  
**場所** 東北学院大学土樋キャンパス ホーイ記念館 3階 303教室  
**報告**

〈総論〉

岡陽一郎「街道研究から大道研究へ  
－中世幹線道路研究を振り返って」

〈文献史学から〉

三好俊文「奥大道と多賀国府周辺の街道」

〈考古学から〉

飯村均「陸奥南部の奥大道の様相」

八重樫忠郎「北の経塚と街道」

山口博之「出羽の中世古道」

\* 入場無料、一般聴講歓迎、事前申し込み不要

\* 公共交通機関でご来場ください。

\* 連絡先：東北学院大学文学部歴史学科 七海研究室 ☎ 022 (721) 3267

主催 東北学院大学中世史研究会

共催 栃木県立博物館 東北中世史研究会

科学研究費補助金基盤研究(B)「東北太平洋沿岸地域の歴史学・考古学的総合研究」